



# 外国人の疑問に答える 日本語ノート 4

ことばとコミュニケーション

水谷 修/水谷信子 著

# 4

nihongo  
notes

e Japan Times

# 外国人の疑問に答える



水谷 修 (みずたに おさむ)

1932年名古屋生まれ。名古屋大学卒。日本研究センター副所長,名古屋大学総合言語センター教授を経て,現在,国立国語研究所日本語教育センター長。専攻は日本語教育,国語学。著書に「話しことばと日本人——日本語の生態」(創拓社),「日本語の表現」(筑摩書房,編著)などがある。

水谷 信子 (みずたに のぶこ)

1929年東京生まれ。東京大学卒。日本研究センター副所長を経て,現在,お茶の水女子大学文教育学部教授。専攻は日本語教育,日英対照研究。著書に「日英比較話しことばの文法」(くろしお出版),「英語の生態」(ジャパントイムズ)などがある。

なお,水谷夫妻の共著には*Nihongo Notes* 1~9のほか,*An Introduction to Modern Japanese, An Introduction to Newspaper Japanese, How to Be Polite in Japanese* (いずれもジャパントイムズ)などがある。

## 外国人の疑問に答える日本語ノート4

—ことばとコミュニケーション—

---

1989年12月10日 初版発行

著者 水谷 修・水谷 信子

©Osamu Mizutani & Nobuko Mizutani,  
1989

発行者 太田 良久

発行所 株式会社 ジャパン タイムズ

● 108 東京都港区芝浦4丁目5番4号

電話 東京 (03) 453-2013(出版営業)

(03) 453-2797(出版編集)

振替口座 東京 9-64848

CTS組版 株式会社 ギャルド

印刷所 三共グラビア印刷株式会社

---

定価はカバーに表示されてあります。

## ● まえがき

---

本書は、英字新聞 *The Japan Times* の日曜日のコラム記事として連載された“Nihongo Notes”の翻訳である。“Nihongo Notes”は、1976年8月1日に連載を開始して以来、日本語に関心を持つ外国人読者の間に、「日本語に対する疑問に、外国人の気持ちを汲んで答えるもの」として好評を博し、1989年の現在まで、13年間余り連載が続いている。終始、単なる言語表現の説明でなく、日本人の言語行動の底に流れるものまでとらえた画期的な作として、国内・海外の高い評価を集め、1986年6月には、国際出版文化賞を授与されている。

“Nihongo Notes”の記事は各70編ごとに単行本としてまとめられ、現在までに9巻の書が出版されているが、第1巻については、すでにスペイン語訳・フランス語訳・タイ語訳が出版され、韓国語訳の企画も進んでいる。

1988年に入って、日本語版刊行の運びとなり、同年6月に最初の88編を第1巻として刊行、同年11月に、続く88編を第2巻とし、1989年5月に続く88編を第3巻として、刊行した。本書は第4巻で、英文版 *Nihongo Notes 4* の後半16編と同 *Nihongo Notes 5* の70編を訳出したものである。

翻訳は原文に即しているが、外国人の目から見た日本語という本来の形を伝えるため、人名はローマ字のままとした。各項目の末尾の数行の英文は、いわば原文の「さわり」の部分で、英語で最小限の説明をするための参考である。詳しくは原著の英文を見てほしい。

自分の実際の姿は、人に指摘されるまで気がつかないことが多い。

日本語についても、外国人のまじめな観察から生まれた疑問に、多くのことを教えられる。本書も、外国人の目を通して日本人の言語生活をふりかえるための参考として、多くの人に読んでいただきたいと願っている。

1989年12月

水谷 修  
信子

#### ローマ字使用について

本書ではヘボン式を一部修正して用いている。

1. 母音の連続は長音記号でなく、ローマ字を重ねて表す。例) *Tookyoo*
2. ひらがなの「ん」に当たる音はすべて“n”で示す。  
例) *shinbun, shinpai*

なお、ひと続きに発音される語は、ハイフンで続ける。

例) *genki-desu, soo-desu-ne*

## ● 目 次

---

265	千円も出せば……	If you pay 1,000 yen,...	……2
266	これもけっこうですが……	This is all right, too, but...	……4
	267 よろしく	Please be good to me	……6
	268 ね え	Isn't it?	……8
	269 一匹怒らした	I angered one of them	……11
	270 ほめられちゃった	I was praised	……13
	271 習いません	I won't study it	……15
272	あの人のことだから……	Since it is that person...	……18
273	きょうはたいへんよいお天気ですが	Today is a very fine day, but...	……20
274	1 か月まあ十万円かかるでしょう	It will take 100,000 yen a month, I should say	……23
	275 行くんじゃなかった	I shouldn't have gone there	……25
	276 手つだいましょう	I'll help you	……27
	277 持ってってください	Please take it	……30
	278 そのくらい	About that much	……33
	279 来るはずです	I expect him to come	……35
280	ゆっくりしてってください い	Please stay longer	……37
	281 そうでしょうか	I wonder	……39
	282 違います	You're wrong	……41
283	あしたにしたらどうですか	Why don't you make it tomorrow?	……43
284	一度お目にかかりたいと思	I'd like to see you sometime	……45

	います		
285	わたしにはむずかしいです	<i>It's difficult for me</i>	.....47
	286 それで.....	<i>And so...</i>	.....49
287	いいじゃありませんか	<i>Isn't it all right?</i>	.....51
	288 お宅でいいです	<i>Your house will do</i>	.....54
	289 なあんだ, 君か	<i>Oh, it's you!</i>	.....56
	290 失礼ですが.....	<i>Excuse me, but...</i>	.....58
291	あとで電話をかけます	<i>I'll call him later</i>	.....60
292	おひきとめしまして.....	<i>I'm sorry I detained you so long</i>	.....63
	293 上手ですね	<i>You do it very well</i>	.....65
	294 なおりました	<i>It has been repaired</i>	.....67
	295 それが.....	<i>That...</i>	.....69
	296 結婚しています	<i>She's married</i>	.....71
	297 行くんだって?	<i>Did you say he's going?</i>	.....73
	298 そうですよ	<i>That's certainly so, isn't it?</i>	.....76
	299 結婚するそうです	<i>I hear she's getting married</i>	.....78
300	おそくなりまして.....	<i>I'm sorry I'm late</i>	.....80
	301 これ, 包んで	<i>Wrap this, will you?</i>	.....82
302	そんなことはありませんたら	<i>That's not so!</i>	.....85
303	すみません, おそくなって	<i>I'm sorry to be late</i>	.....87
	304 いらっしゃいませ	<i>I'm glad you have come</i>	.....89
	305 足をふまれました	<i>Someone stepped on my foot</i>	.....91
	306 千円になります	<i>That will be 1,000 yen</i>	.....93
	307 そうかもしれません	<i>That may be so</i>	.....95
308	暑中お見舞い申し上げます	<i>Summer Season Greetings</i>	.....97
	309 もうやめるんだ	<i>Now stop it</i>	.....99
310	言ってくればよかったの に	<i>You should have asked me</i>	.....101

311	毎度ありがとうございます	Thank you very much for your patronage	.....103
	312 ずいぶん	Terribly	.....105
313	気にすることはありません よ	You don't have to worry about it	.....107
	314 眠くて、眠くて……	I'm so sleepy	.....110
	315 定食でいいです	Today's lunch will do	.....113
	316 ぼくも	Me, too	.....116
	317 ここはわたしが……	I will take care of this	.....118
318	ここに喫茶店があるでしょ？	There's a coffee shop here, you know	.....120
	319 木村さんです	It's Mr. Kimura	.....123
	320 これ、おいしいわね	This is good, isn't it?	.....126
321	これはあれでしょうね……	This case is like that, isn't it?	.....129
	322 ごめんください	Excuse me	.....131
	323 ですね	It is, isn't it?	.....133
324	見ていただけませんか	Would you please take a look at this?	.....135
	325 おそかったですね	You're late	.....138
	326 休んだらどうですか	Why don't you rest?	.....140
	327 「この」と「その」	'This' and 'that'	.....143
328	ごぶさたいたしました	I'm sorry I have been neglecting to see you and write to you	.....146
	329 男は女房だ	A man is a wife?	.....148
	330 もう出ました	It has already left	.....151
	331 きれいに食べる	To eat up	.....153
332	行ってもいいけど……	I don't mind going, but...	.....156
	333 ばかり	About; Only	.....158
	334 泊まりますか	Are you going to stay overnight?	.....161
335	いっしょにしましょう	Let's do it together	.....164

目次

336	うちの赤ちゃん	Our baby	……166
	337 家内	My wife	……168
	338 いい年	Good age	……170
339	いいですね、でもわるい すね	It's good, but it's bad	……172
	340 へえ?	Really?	……174
	341 わかるどころか……	Far from being able to understand...	……177
342	山田さんでいらっしゃいま すか	Are you Mr. Yamada?	……179
	343 高くないじゃない	It isn't expensive, is it?	……182
344	全部はわかりませんでした	I didn't understand all of it	……185
	345 四日からですか	From the fourth?	……188
	346 どうもうまくできない	Somehow I can't do it well	……191
347	田中さんから電話がありま した	There was a telephone call from Mr. Tanaka	……193
	348 気にしない、気にしない	Don't worry!	……196
	349 「十日?」「でした」	'The tenth?' 'Yes.'	……199
	350 帰ったほうがいい	You had better go home	……202

本文イラスト／アオシマ・チュウジ

ジャケットデザイン／佐々木一之（株）芳林社

# 外国人の疑問に答える 日本語ノート 4

## 千円も出せば……

(If you pay 1,000 yen,...)

—1981. 8. 23—

**M**r. Lerner は、Mr. Takada が新しいライターを持っているのを見た。なかなかしゃれたライターだったので、それをほめた。Miss Yoshida も見て感心し、高かったでしょうねと言った。Mr. Takada はそんなことはないと言え、

千円も出せばどこでも買えますよ

と言った。すると Miss Yoshida は、

千円もするんですか

と言った。Mr. Takada は笑って、ライターの値段を知らないんだなどと答えた。それにしても、Mr. Takada の使った「も」と Miss Yoshida の使った「も」は同じものか別のものか、Mr. Lerner にはわからなかった……。

\* \* \*

数量を表す語のあとにつけた「も」は、話し手の評価を映し出している。たとえば「千円も」は「わずか千円」の意味にもなり「千円という高額」の意味にもなり得る。上記の話で Mr. Takada が使った「も」は「わずか千円」の意味である。彼としてはライターの値段としては千円は極めて少額だと感じていたわけである。それに

対して Miss Yoshida はライターに千円とは高額だという気持ちで、「千円も」と言ったのである。

「も」が積極的な意味をもつか否定的な意味をもつかは、文脈によって決まる。あとに「…ば」がつくと、「も」が「わずか」の意味になることが多い。たとえば、何人かの人がおくれてくる人を待っているとする。もうそろそろ待たないで出かけようかと考え始めたころ、だれかが、もう少し待つことを提案する目的で、

あと5分も待てば来るでしょう

と言うかもしれない。この場合話し手は5分は短い時間だと言っている。しかし、だれかが怒った口調で、

5分も待ったのに来ませんでした

と言った場合、「も」は「多くの」の意味をもつ。

日本語の学習に関して、教師は学習者に、

2年もやれば上手になります

と言うかもしれないが、学習者のほうは、

2年もやるんですか！

と言うかもしれない。

### ◎ To Explain in English

---

The particle *mo* added to words indicating amounts implies the speaker's evaluation of the amount.

Whether *mo* is used positively or negatively is decided by the context. Very often, when followed by *...eba* (if...), *mo* means "only." ■

## これもけっこうですが……

(This is all right, too, but...)

1981. 8. 30

先日、Mr. Lerner が母親におくるものを選ぶ時、Miss Yoshida が手つだってくれた。二人はまず呉服店に入って、ゆかたを見せてもらった。Miss Yoshida はいくつか見たが、どれも買うとは言わなかった。値段が高すぎるからだと思った Mr. Lerner は、もっと安いのはありませんかと店員にたずねようとした。その時 Miss Yoshida は、

これもけっこうですけど……

とためらいがちに言った。すると店員はさらにいくつか、もっと値段の安いものも含めて、別の品を持ってきた……。

\* \* \*

買い手がはっきりと「もっと安いのはありませんか」とたずねるかどうかは、人にもより店にもよるが、商品の性格によっても決まる。買い手は値段のことを言いたくない場合には、

これもけっこうですが……

これもけっこうですけど……

と言う。

この表現は、与えられた物や見せられた物に満足していないこと

を、値段や品物の欠陥には言及せずに伝えるものである。ほかの場合にも、だれかが計画を述べたがそれに賛成できない時など、

それもけっこうですが

とか、

それもいいんですが

と言うだけで、反対の意を示すことができる。

人づきあいの上で、にべもなく拒否することが不適切な場合、この表現を用いて、相手が自分の提案を変更するのを待つことがある。反対の気持ちは、「も」と「けど」によってそれとなく示すわけである。また、ためらいがちな口調で言うことも大切である。この表現を使うのは、相手が自分から別の申し出をするよう誘導するためであるから。

### ◎ To Explain in English

---

*Kore-mo kekkoo-desu-ga/kedo...* is used to imply that the speaker is not satisfied with the thing he has been given or shown, without mentioning any reason or defect of the thing itself.

In social situations where it is not appropriate to denounce something flatly, one uses this expression and waits for the listener to change his proposal. ■

# よろしく

(Please be good to me)

1981.9.6

**先** 日，知人の Mr. Nakamura から Mr. Lerner のところへ電話がかかってきた。2，3日のうちに商用で市内へ行くから，Mr. Lerner の会社へたずねていくかもしれないとのことであった。もう少しわしいことをと Mr. Lerner が言うと，また電話するからと言い，

よろしく

と言って切ってしまった。「よろしく」というのは「よろしく願います」を短縮した形に違いないが，一体 Mr. Nakamura は何をしてくれと言っているのだろう。Miss Yoshida にきいてみると，それは「さよなら」と同じようなものだから，何もしなくていいのだという答えだった……。

\* \* \*

「よろしく」や「よろしく願います」は，相手の好意を仰ぎもとめる表現である。初対面の時，「はじめまして。どうぞよろしく」というのは，今後の良き関係を築きたいという願いの表明である。

時には好意の内容を言葉の上で特定して，

娘をよろしくお願いします

と言う。これは両親が娘のむこやその家族に対してよく用いるあいさつである。あるいはテレビのコマーシャルで、ある会社の別の製品の名をあげて、

XXもよろしく

と言うのは、「XXにも注目してください」あるいははっきり言えば、「XXも買ってください」という意味である。またセールスマンがカタログをわたして、「よろしく（お願いします）」と言うのも、同じような意味合いである。

この「よろしく」は、何をしてほしいのか特定せずに使われることが極めて多い。Mr. Nakamura の電話もそうである。彼の場合、特に Mr. Lerner と親しいわけではないのだから、別に何もしなくていいと Miss Yoshida が言ったのは正しい。しかし、これが親しい友人や親戚の間であれば、「よろしく」と言った人は何らかの行為を期待するであろう。駅や飛行場へ迎えにくることとか、2, 3日家に泊めてくれることとか、どのような好意を期待するかは場合によって決まる。

### ◎ To Explain in English

*Yoroshiku* or *Yoroshiku onegai-shimasu* is used to ask the listener to do a favor.

Very often *Yoroshiku* is used without specifying the favor, as in the case of Mr. Nakamura's telephone call.

The favor must be determined from the situation. ■

# ね え

(Isn't it?)

1981. 9. 13

このあいだ Mr. Lerner が会社の近くの小さなレストランで食事をしていると、ひとりの客が入ってきて、コックに向かって、

原がまた打ったねえ

と言った。きっとプロ野球の人気選手の話であろう。するとコックが、

ねえ

と、料理の手を休めずに言った。この2人が使った「ねえ」は、よく会話で使われる短い「ね」と同じなのか、別のものなのか、と Mr. Lerner は考えた……。

\* \* \*

短い「ね」は通常、相手の賛同を求めたり、聞いたことを理解したかどうか確認したりするために用い、長い「ねえ」は話し手の感情を表現するために用いる。長い「ねえ」が最もよく聞かれるのは、

すっかり秋になりましたねえ

のような文の文末である。